

工場見学会のお知らせ

おかげさまで、ご好評につき、今般、滋賀工場におきまして、株主様向けの工場見学会を開催いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

開催概要

見 学 場 所： 滋賀工場 (滋賀県甲賀市)
同工場では、ホンダ様のフィット、N-BOX、N-WGNなどの車体部品を生産しております。

集合・解散： JR京都駅 八条改札口(バスにて滋賀工場まで送迎いたします。)
※お車等での工場への直接のご来場はご遠慮ください。

開 催 日 程： 2019年4月10日(水) 12：30集合(予定)
内 容： 概要説明の後、徒歩にて構内を概ね1時間程度ご見学いただく予定です。
対 象 者： 2018年9月末時点の当社株主様
募 集 人 数： 20名
参 加 費： 無料(但し、集合・解散場所までの交通費や宿泊費等は各自のご負担とさせていただきます。)



応募要領

応 募 方 法： 同封の「株主様アンケート」に記載の「工場見学会へ出席をご希望される株主様」の欄に必要事項をご記入の上、ご返送ください。

応 募 締 切： 2019年1月11日消印有効とさせていただきます。

当 選 発 表： 応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選発表につきましては、3月上旬に発送予定の当選通知をもって代えさせていただきます。その際、当日の運営等詳細もあわせてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

お問い合わせ先

株式会社ジーテクト 工場見学会係
電話番号 048-646-3404 9:00～17:00(土、日、当社休日を除く)

株主優待のご案内

100株以上保有の株主様に、継続保有期間に応じて、以下のとおりクオカードを贈呈いたします。

継続保有期間	1 年 未 満 の 株 主 様	1,000円
継続保有期間	1年以上3年未満の株主様	2,000円
継続保有期間	3 年 以 上 の 株 主 様	3,000円

※3月末日時点の株主名簿に記載されており、100株以上を保有している株主様を対象として、同一株主番号で初めて登録されてからの期間が1年未満の方には1,000円分、1年以上3年未満の方には2,000円分、3年以上の方には3,000円分を贈呈。



株式会社ジーテクト

本社 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-20

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株式会社ジーテクト

証券コード：5970



第8期 株主通信

上 半 期 の ご 報 告

2018年4月1日～2018年9月30日



Shape the Future

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

現在、自動車業界は、コネクテッド(繋がる)、オートノマス(自動運転)、シェアリング(共同所有)、エレクトリック(電動化)の「CASE」と呼ばれる急激な変革期にあり、電動化がさらなる車体の軽量化を求めています。

この変化を的確に捉え、持続的な成長を続けていくためには、当社が今まで培ってきた車体技術に新たな技術を加えていくとともに、時代の変化に迅速に対応できる企業へと体制を強化する必要があると考えております。

当社では、「Shape the Future」をコーポレートスローガンに掲げました。このスローガンの下、既存の価値観にとらわれず、開発力・技術力・人材リソースを最大限活用して、次世代の軽量高剛性ボディを知恵と発想で創造し、人とクルマと地球の未来の姿を形づくっていきます。

これからも、持続的な成長と進化を遂げるべく、時代の先を読む攻めの経営とイノベーションにより、力強く経営の舵取りを行ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月



代表取締役社長 高尾 直宏

～人とクルマと地球の未来の姿を形づくる～

本年4月、東京都羽村市に、当社初となる本格的な研究開発拠点「ジーテクト東京ラボ(GTL)」が稼働を開始しました。

GTLは、世界に跨るR&Dネットワークの中核として、当社の技術開発をリードします。

軽量高剛性ボディを生み出すためのボディシミュレーション解析技術では、欧米の最新車種のバーチャルデータを用い、実車による衝突実験と相関の高い結果を出すことに成功しており、この技術は業界の中でも先駆けと言われ、高い評価を受けています。

最新設備を備えた新しい研究環境で、先進的な技術開発を究め、より軽くより強いボディの開発提案を目指します。



本年4月に稼働を開始したジーテクト東京ラボ



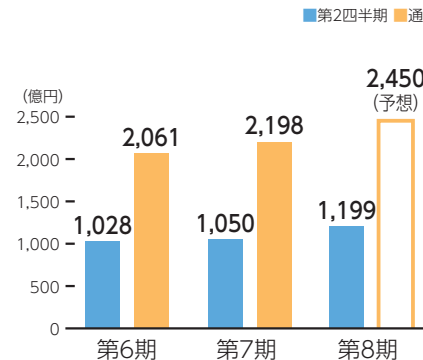
デザインモデル「Shape the Future」

コーポレートスローガン「Shape the Future」を象徴するものとして、GTLのエントランスホールに展示しているデザインモデルは、見る角度によって形を変え、躍動感に溢れた様々な表情を描き出します。

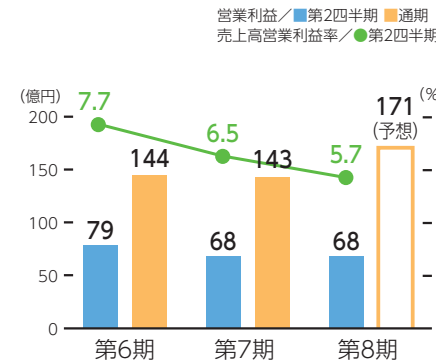
既存の価値観にとらわれない、無限の可能性を具現化した作品であり、私たちジーテクトは、このデザインモデルのように、様々なボディを生み出すことで、人とクルマと地球の未来の姿を形づくっていきます。

財務ハイライト

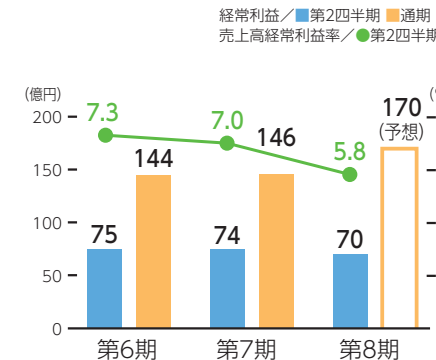
売上高



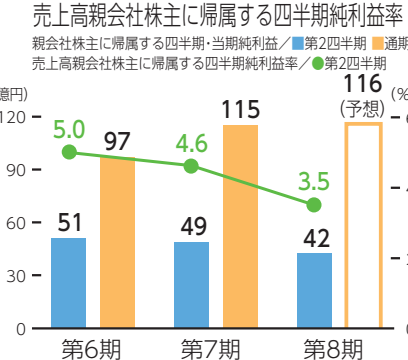
営業利益／売上高営業利益率



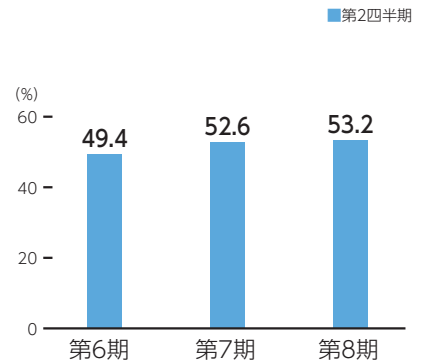
経常利益／売上高経常利益率



親会社株主に帰属する四半期・当期純利益



自己資本比率



将来を見据えたジーテクトのEV戦略

当社は、EV化が加速する欧州と中国をターゲットに、EV戦略を展開しています。
以下では、アルミボディ量産に向けた取り組みと、スロバキアG-TES社新工場建設の模様をご紹介します。

アルミボディ量産加工技術の確立

EV車は、大型バッテリーを搭載することから、車体を軽くして長い航続距離を実現するため、アルミのニーズが高まっています。

このような中、当社では、カーメーカーの軽量化ニーズに応えるため、アルミボディの量産加工技術を開発しました。

金型仕様を一から見直し、通常の鋼板と変わらないレベルの連続ハイスピード加工を実現したこの技術を、日本に先立ち、2019年に完成するスロバキア新工場に投入する予定です。



アルミボディの連続ハイスピード加工を行うトランスファープレス機

スロバキアG-TES社 アルミボディ量産工場の新設

欧州大陸初となるスロバキアの生産拠点G-TES社では、ジャガー・ランドローバー様やBMW様向けにアルミボディなどを生産します。

G-TES社は、アルミの量産加工をジーテクトグループで最初に導入する工場として、2019年4月の完成を目指し、順調に工事を進めています。

自動車産業の集積地である立地を最大限に活かして、高まるアルミボディニーズに応えてまいります。



建設中の工場

グループ初のアルミボディ量産工場。欧州でその量産技術を磨き上げ、受注拡大を図ります。

生産性向上へのグローバルな取り組み

日本では生産年齢人口が減少し、生産現場における自動化・無人化が急務です。
また、米国や中国でも賃金が上昇し、グローバルな課題となっています。

当社は今年度より、3か年計画で「生産性向上プロジェクト」を立ち上げ、生産・技術・管理の各領域において推進しています。

自動化・無人化生産ライン



無人フルオートメーション生産ライン

プレスラインでは、これまでプレス部品を人の手で払い出していたところを、自社開発した自動搬出装置の導入により、自動化しました。また、溶接ラインでは、ロボットによる払い出しや、高精度なカメラによる品質検査を行っており、完全な無人化ラインを実現しています。

中国の拠点では、日本の自動化ラインを展開し、さらに、構内物流を無人搬送車が担っています。また、基幹業務を一元的に管理するERP（Enterprise Resource Planning）の導入により、経営の効率化を図っています。

単純作業を機械化すると同時に、生産や管理システムのメンテナンスや高度化など、より付加価値の高い業務に移行できるように、従業員の人財育成に努めていきます。

無人搬送車

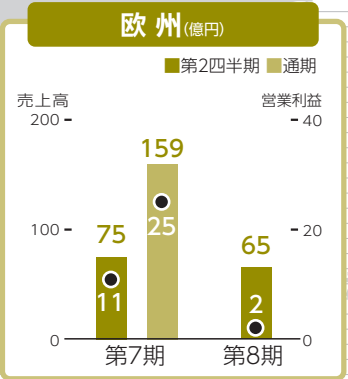
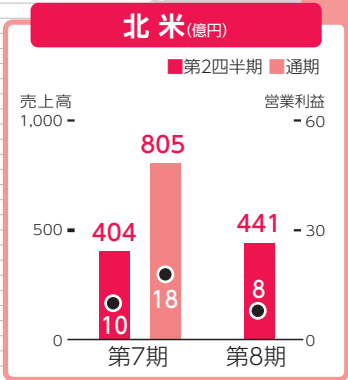


工場内物流を担う無人搬送車

これらの取り組みを北米にも展開し、生産性向上を加速させていきます。

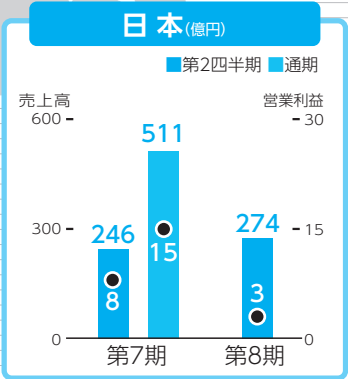
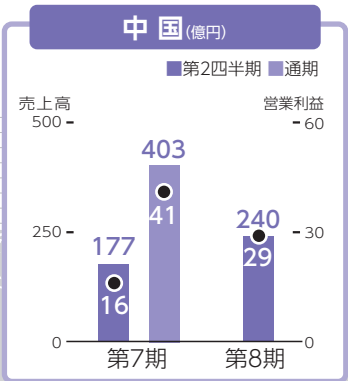
グローバル競争に打ち勝つため、全世界対応の企業規模と展開力を実現。
コスト競争力のさらなる向上を図ります。

売上高は、型設備売上の増加等により、44,080百万円(前年同期比9.1%増)となりました。営業利益は、雇用状況の逼迫による労務費の増加等により、811百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

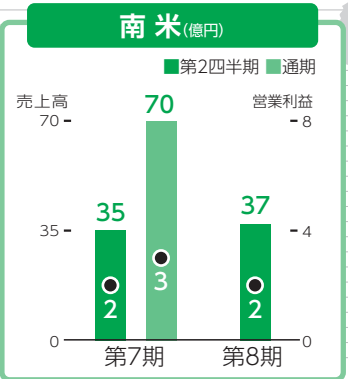
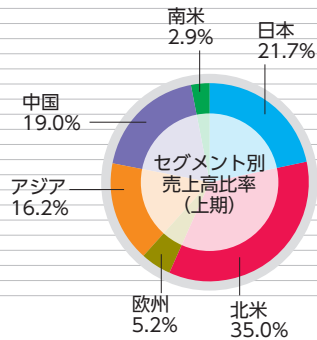


売上高は、上期に計画していた型設備売上が下期にずれ込んだことの影響等により、6,516百万円(前年同期比13.3%減)となりました。営業利益は、型設備売上の減少の影響等により、221百万円(前年同期比80.0%減)となりました。

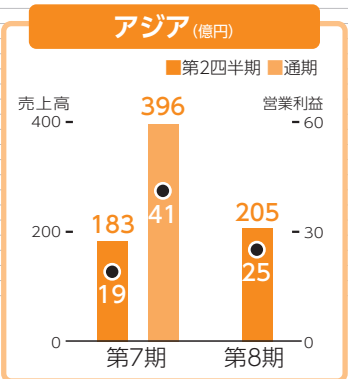
売上高は、量産売上の増加等により、23,961百万円(前年同期比35.7%増)となりました。営業利益は、増収効果等により、2,879百万円(前年同期比81.0%増)となりました。



売上高は、量産売上の増加等により、27,371百万円(前年同期比11.2%増)となりました。営業利益は、生産変動の影響等により、310百万円(前年同期比59.5%減)となりました。

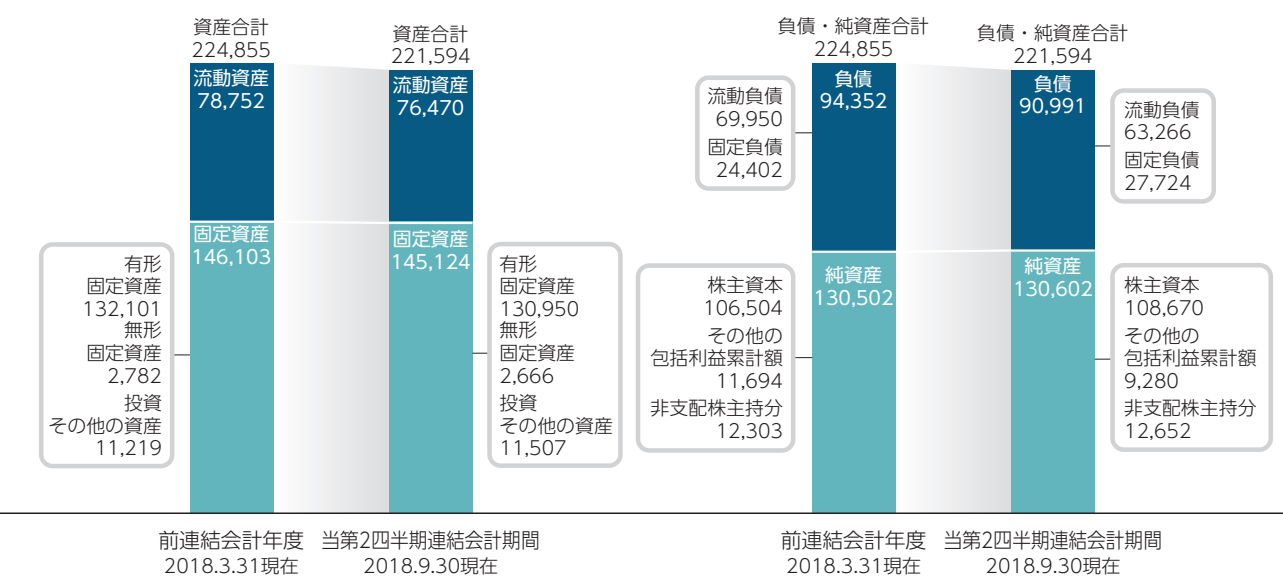


売上高は、量産売上の増加等により、3,662百万円(前年同期比4.0%増)となりました。営業利益は、製造経費の増加等により、169百万円(前年同期比28.9%減)となりました。

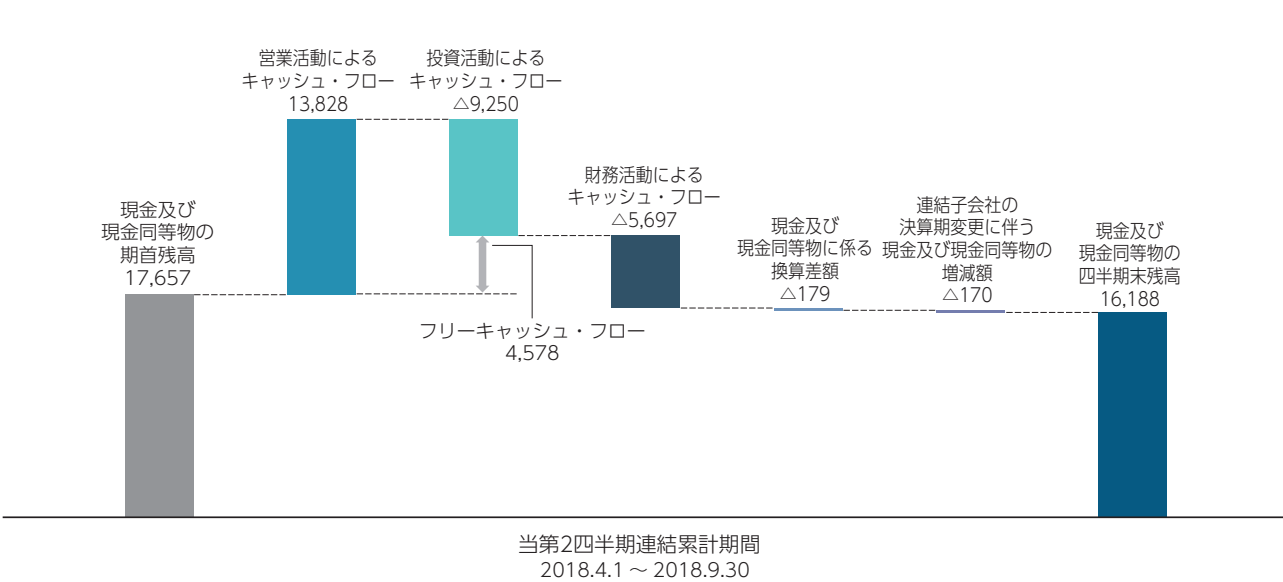


売上高は、主にタイにおける増産が寄与して量産売上が増加したこと等により、20,462百万円(前年同期比11.7%増)となりました。営業利益は、増収効果等により、2,447百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

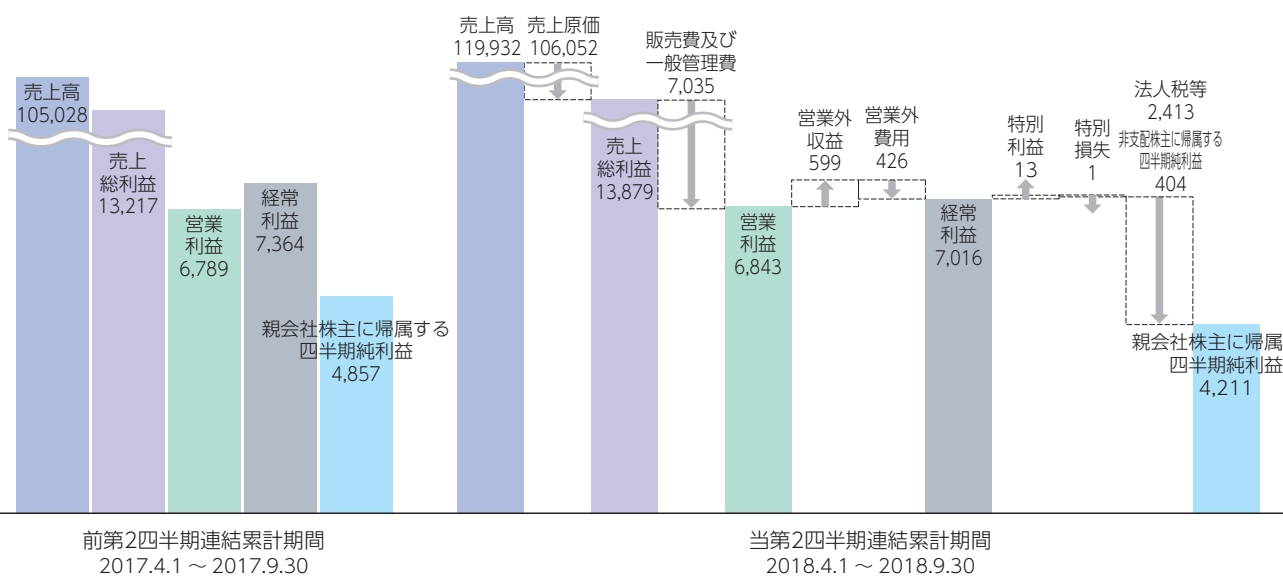
四半期連結貸借対照表 (要旨) (百万円)



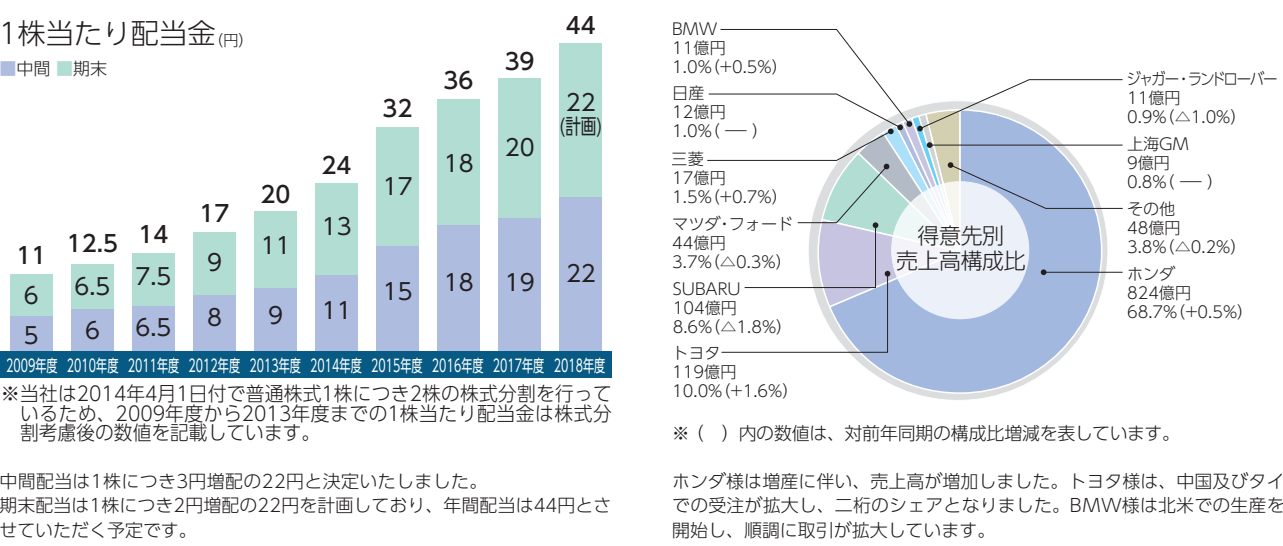
四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (百万円)



四半期連結損益計算書 (要旨) (百万円)



財務のポイント



●会社概要 (2018年9月30日現在)	
■社名	株式会社ジーテクト
■創業	1947年4月1日
■設立	1953年11月4日
■資本金	4,656,227,715円
■代表取締役社長	高尾 直宏
■事業内容	車体部品、トランスミッション部品の製造販売、金型・溶接設備等の製作販売
■拠点	国内9拠点、アメリカ5拠点、カナダ1拠点、メキシコ2拠点、ブラジル1拠点、イギリス4拠点、ドイツ1拠点、スロバキア1拠点、中国6拠点、インド1拠点、タイ4拠点、インドネシア1拠点



<https://www.g-tekt.jp/>

決算情報やプレスリリースなどIR情報につきましては、当社ホームページからご覧いただけます。



●役員 (2018年9月30日現在)	
代表取締役会長 取締役会長	菊池 俊嗣
代表取締役社長 社長執行役員	高尾 直宏
取締役 常務執行役員	米谷 正孝 営業本部長
取締役 常務執行役員	洞 秀明 技術本部長
取締役 常務執行役員	石川 美津男 海外事業本部長
取締役 常務執行役員	中西 孝裕 生産本部長、 リスクマネジメントオフィサー
取締役 常務執行役員	吉沢 勲 事業管理本部長、 コンプライアンスオフィサー、法務部長
社外取締役	利根 忠博
社外取締役	大胡 誠 弁護士
常勤監査役	下垣 司郎
常勤監査役	田村 依雄
社外監査役	有賀 茂夫 税理士
社外監査役	飯島 誠一 公認会計士
常務執行役員	宮崎 幸一 中国地域本部長、APAC董事長総経理
常務執行役員	原 和彦 北米地域本部長、JIC代表取締役社長、ATA会長、 G-NAC会長
執行役員	菊池 英次 経営企画室長
執行役員	内山 雅保 南米地域本部長、G-KTB代表取締役社長
執行役員	藤澤 恭司 事業管理本部副本部長、経理部長
執行役員	原 栄光 技術本部副本部長、開発部長
執行役員	高山 隆一 ATA代表取締役社長
執行役員	瀬古 浩 欧州地域本部長、 G-TEM代表取締役社長
執行役員	矢端 志津男 品質保証本部長、購買部担当
執行役員	林 政行 アジア地域本部長、G-TEC代表取締役社長、 TGB代表取締役社長
執行役員	廣瀧 文彦 営業本部副本部長
執行役員	平岡 泰雄 SUBARU事業責任者、技術本部副本部長、 生産本部 栃木工場長
執行役員	森下 泰一郎 G-TED代表取締役社長
執行役員	柿崎 明 技術本部副本部長、技術戦略企画部長
執行役員	水木 尚樹 APAC副総経理
執行役員	藤井 琢人 生産本部 埼玉工場長

●株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式総数 43,931,260株
株主数 6,668名

株式分布状況

所有者別状況	割合
銀行・保険・事業会社等	44.09%
個人	20.19%
信託銀行	10.99%
外国法人等	21.00%
その他	1.18%
自己株式	2.55%

大株主 (上位10名 敬称略)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	13,035,098	30.04
菊池俊嗣	2,904,480	6.69
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR：FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,750,000	6.34
TKホールディングス株式会社	2,194,344	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,059,917	4.75
株式会社ケー・ピー	1,480,800	3.41
高尾直宏	1,286,576	2.97
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,273,880	2.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	899,000	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	749,200	1.73

(注) 持株比率は、自己株式545,005株を控除して計算しております。

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告の方法	当会社の公告は、電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

「株主様アンケート」集計結果のご報告

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前回実施させていただきましたアンケートに581枚(回収率12.0%)のご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

率直なご意見も頂戴し、今後の経営に役立ててまいりたいと考えております。

ここで、アンケート結果の一部をご紹介します。

(調査期間 2018年6月4日～2018年7月31日)

